

「 やさしい力とがんばる人たち 」

青森県 八戸市立白鷗小学校 2年 ^{きむら}木村 ^{おうすけ}旺介

2日間ずうっと雨がふりつづいたせいで、しずおかけんあた海市のいず山地くで、土しゃくずれがはっ生した。家や車が土しゃにながされ、4人のいのちがうばわれてしまった。

ぼくがいつも読んでいる子ども新聞に詳しい記じがのっていた。ぼくは、毎日、土しゃさいがいのニュースが気になった。

お父さんが、大人の読むちがう新聞を用いしてくれた。ぼくの読めないかん字やいみの分からないことばをお母さんが教えてくれた。

ぼくは今まで、強い地しんのゆれで土しゃくずれがおきていることは知っていた。年長だったときに、しょうぼうしょに行き、地しんのゆれを体けんするきしん車にのったことがある。テーブルのあしにつかまってもグオングオンと体ごとゆれた。こわかった。つかまっていた手がすべって、いっしょにのっていた友だちと何回も体がぶつかってしまった。もし、家がこわれてしまうくらい本当の地しんだったら、ものにつかまったり、頭をかくしたりできないと思った。

お母さんがいつもの明るい声とはちがうくらっぼい声で話しはじめた。2、3年前にお母さんがすんでいた北海道でも地しんが原いで土しゃくずれがおきてしまったことを聞いた。しんど7の強いゆれで土しゃくずれがおきて家や車、道ろがながされてしまった。大へんなことがおこったんだなと思った。

毎年のように土しゃさいがいがおこっている。夏休みに入ってから、ぼくがすんでいる青森けんでも、大雨が原いで土しゃさいがいがおきた。

いつおこるかわからない自ぜんさいがいから、いのちをまもるためのくふうがあるか、お母さんとインターネットでしらべてみた。きけんな場所やひなん場所、その場所までの道を前もっておぼえておくようにとのっていた。ぼくのひなん場所は、いつも通っている小学校か、近くの公みんかんだ。家ぞくみんなでかくにんもした。

そのほかにも、青森けんちょうのホームページに「土しゃさいがいからみをまもるために知っていただきたいこと」や「土しゃさいがいけいかいじょうほう」などがのっていた。「きそちょうさ」で土地の形をしらべたり、せいびしたり、きけんなところにすんでいる人は、いどうしてもらうことも知った。みんながあん心であんぜんなくらしができるようにがんばってはたらいてくれている人たちのしごと少しわかった。土しゃさいがいがおきたとき、たすけにきてくれるしょうぼうし、自えいたい、近所の人たちがいる。自分もきけんな目にあうかもしれないのに、人のいのちをみすてない、やさしくてゆう気のある人たちのようにぼくもなりたい。人のためにつくすという大きなやくわりをもってはたらいている人たちと同じように、ぼくも自分のできる力をみんなのためにつかいたい。